

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立本庄小学校）

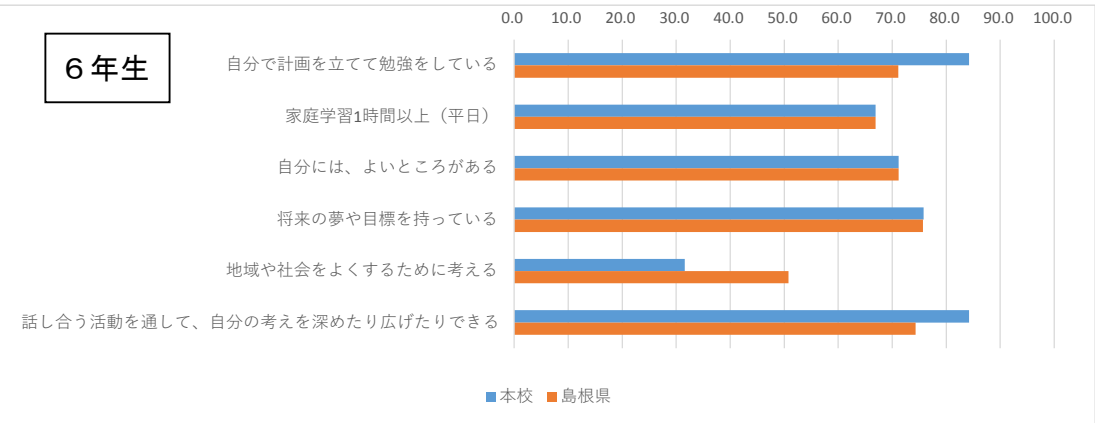
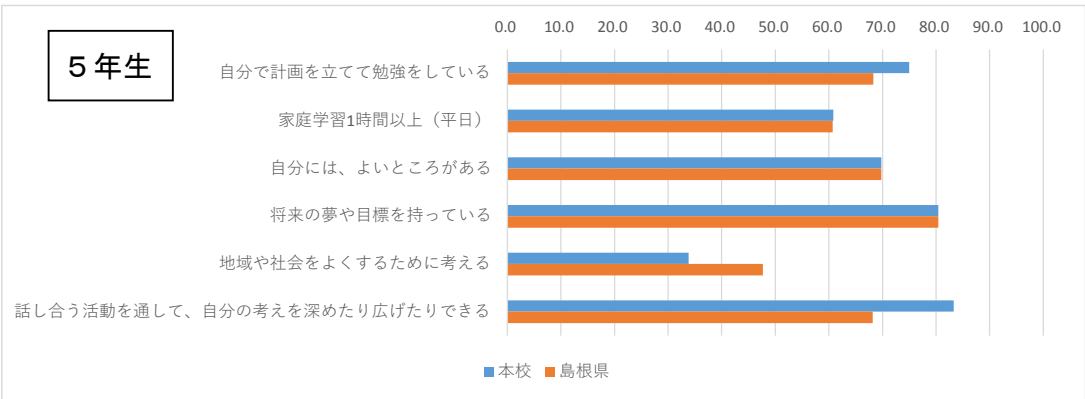
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○「情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している」「互いの立を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げている」「表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している」などの項目で、県・全国平均よりもかなり高い正答率となっている。国語の授業研究の成果が表れていると考えられる。 ●「文章を書く」項目で、県・全国平均よりも正答率が低い傾向が見られる。対策が今後の課題である。	6 年 国 語	○「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている」「目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している」「予想される反論とそれに対する意見を書いている」などの項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。これまでの課題であった「文章を書くこと」の指導に力を入れてきた効果が表れていると考えられる。 ●「物語や説明文の内容を読み取る」力を継続して高めていくことが今後の課題としてあげられる。
5 年 算 数	○「最小公倍数を適用して問題を解決している」「分数と小数の大小比較をしている」「小数第二位÷小数第一位＝小数第一位の計算ができる」などの項目で、県・全国平均よりもかなり高い正答率となっている。授業において、基礎学力の定着を図る指導の効果が表れたものと考えられる。 ●県平均と同様、記述で答える問題の正答率が低くなっている。国語の「文章を書く」課題とリンクさせ対策を考えていく必要がある。	6 年 算 数	○「比と比の値」の記述問題で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。国語の「文章を書くこと」の継続指導の効果がここでも表れていることが分かる。 ●「分数のかけ算・わり算」「文字を使った式の値を求める」など計算に関する項目で、県・全国平均よりも正答率が低い傾向が見られる。基礎学力のさらなる定着を図ることが課題として考えられる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○「自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が県平均より数値が高い。宿題などにおける自主学習指導の効果が表れていると考えられる。 ○「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」の項目が県平均を大きく上回っている。国語の授業研究を行ってきた成果が表れたものと思われる。	6 年	○5年生と同様の2つの項目で、これまでの複数年に渡る対策の効果が表れていることが分かる。 ●5、6年生共に、「地域や社会をよくするために考える」の項目が県平均より数値が低い。これは数年前からの課題であり、対策を行ってきた。引き続き、総合的な学習の時間やふるさと教育の充実を図っていきたいと考えている。
--------	--	--------	---

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 12名 6年生 19名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。